



MacBook Air 13インチ Early 2014のマイクロ フォンの交換

このガイドを参照して、マイクロフォンを交換しましょう。

作成者: Jeff Suovanen



はじめに

このガイドを参照して、マイクロフォンを交換しましょう。



ツール:

- MacBook Air 星形ペンタローブネジ用ドライバ (1)
- T5トルクスドライバー (1)
- スパッジャー (1)



部品:

- MacBook Air 13" (Mid 2013 to 2017) Microphone (1)

手順 1 — 下部ケース



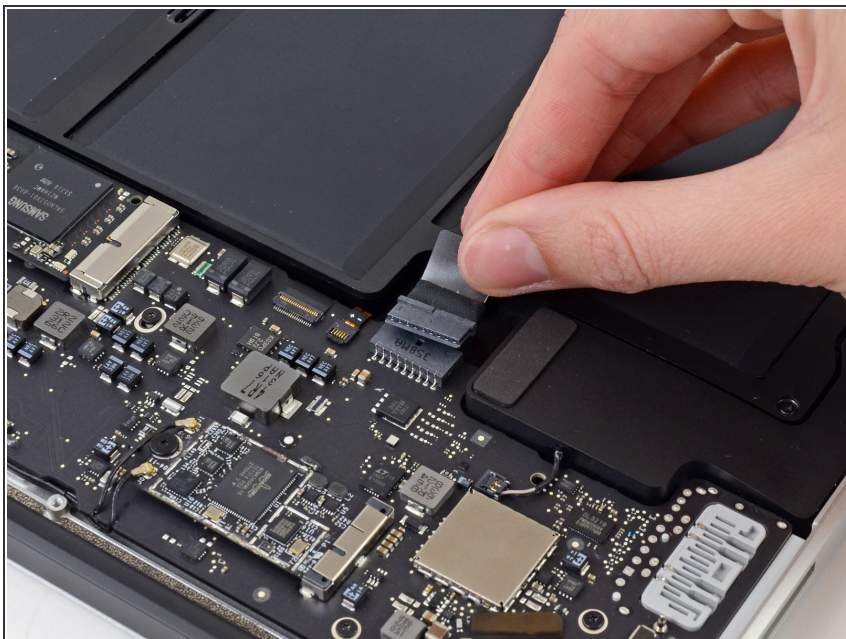
- ① 作業を始める前に、MacBookの電源を落として下さい。ディスプレイを閉じ柔らかい表面の上に置いてください。
- [P5ペンタローブドライバー](#)を使って、下部ケースをはずしてください。ネジは次の長さに分かります。
 - 9mm ネジ 2本
 - 2.6mm ネジ 8本

手順 2



- ディスプレイと下部ケースの間に指を入れ、上に引っ張って下部ケースを本体から外します。
- 下部ケースを取り外して脇に置きます。

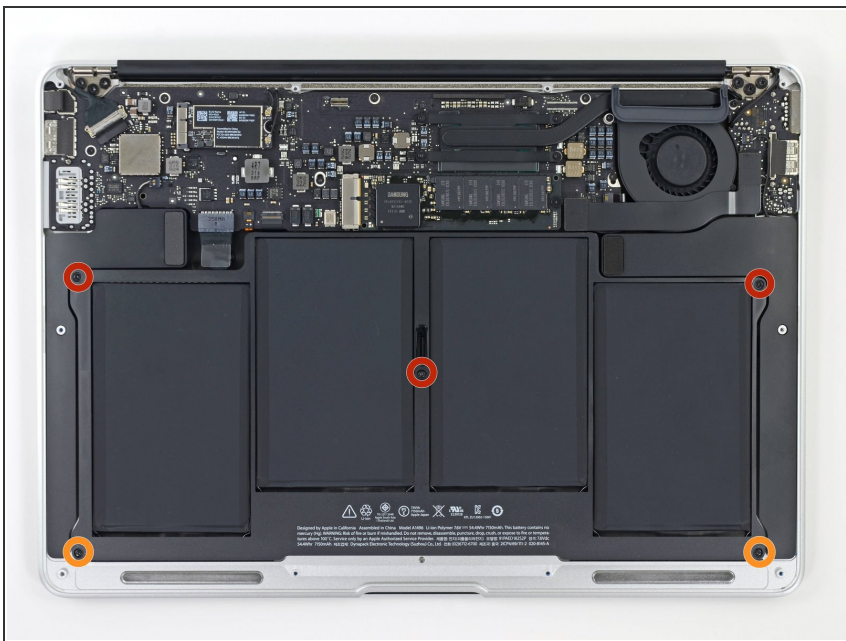
手順 3 — バッテリー



- バッテリーコネクタに付けられている透明なプラスチックのプルタブを掴みAir本体の前側に向かって引き、基盤からバッテリーを切り離します。

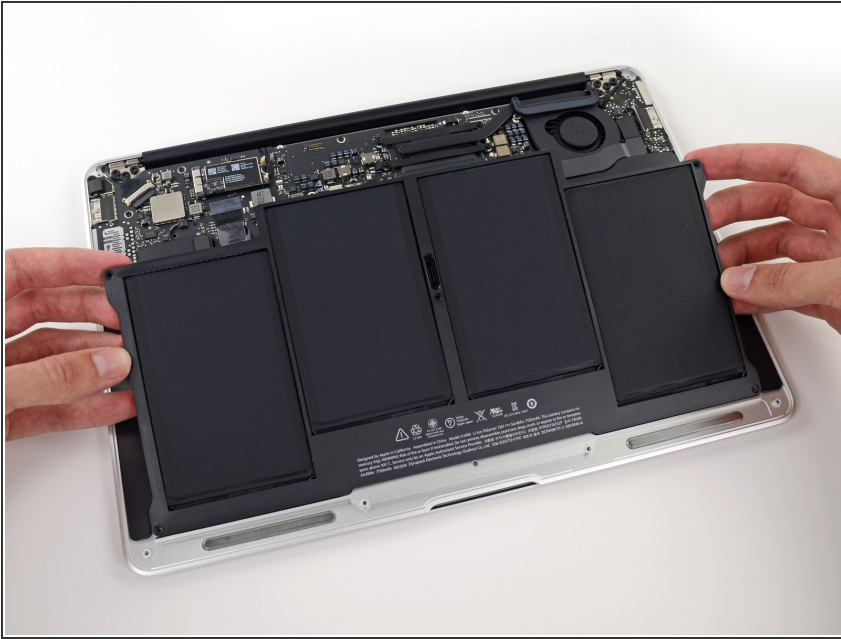
⚠ 切り離す際にコネクタを上方に持ち上げないで下さい。

手順 4



- バッテリーを上部ケースに固定している以下の5本のネジを外します：
 - 6.3 mm T5トルクスねじ 3本
 - 2.4 mm T5トルクスねじ 2本

手順 5



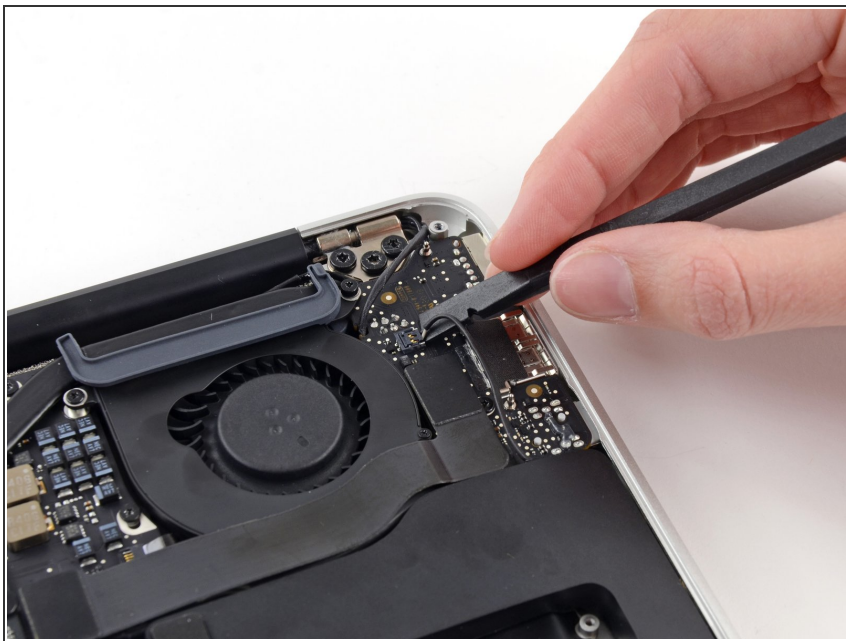
⚠ バッテリーを取り扱う際は、露出している4つのリチウムポリマー電池のセル部分を握ったり触ったりしないでください。

- バッテリーをロジックボードに近い上端から持ち上げ、上部ケースから取り外します。

★ この修理ガイドを完成したら、新しく装着したバッテリーの[カリブレーション](#)を行なってください。

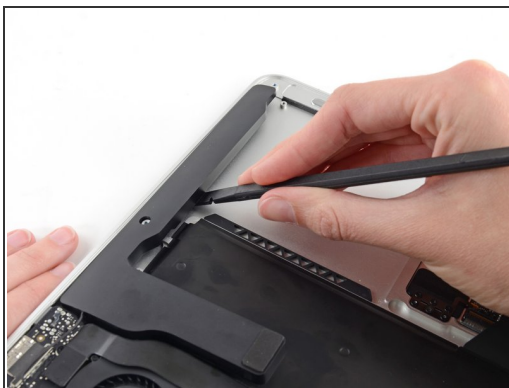
- 100%になるまで充電します。充電後も最低2時間はプラグを繋げたままにします。それからプラグを外して、通常通り使用しながら、自然に放電させます。バッテリー残量小のサインが表示されたら、これまでの作業を保存して、スリープ状態になるまで放置してください。スリープ状態に入ったら、少なくとも5時間置きます。それから一気に100%まで充電します。
- 新しいバッテリーを装着後、通常通り作動しない場合は、[MacBook ProのSMCをリセット](#)しなければならない可能性があります。

手順 6 — 左側スピーカー



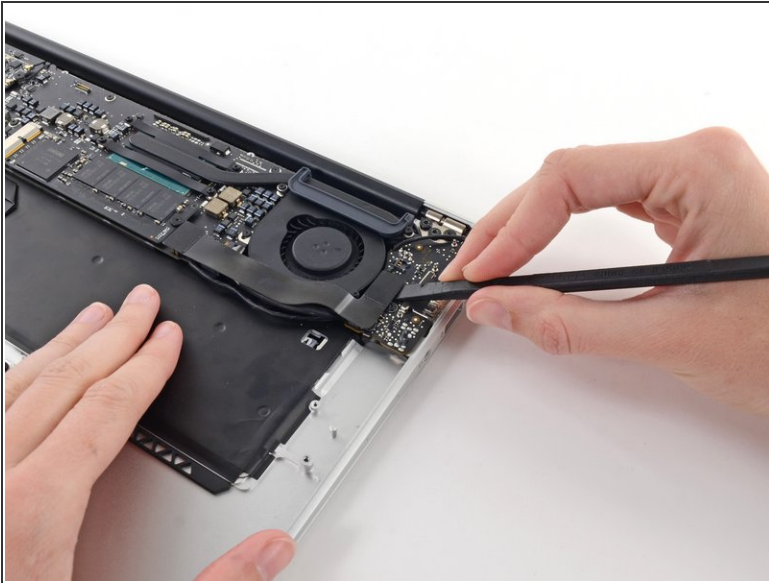
- スパッジャーの平面側先端を使って、I/Oボード上のソケットから左側スピーカーのケーブルコネクタを跳ね上げて外します。
- ⓘ ワイヤの下から接続を外してください。

手順 7



- スパッジャーの平面側先端を使って、上部ケースに左側スピーカーを固定している接着剤から解放します。
- 上部ケースから左側スピーカーを取り出します。

手順 8 — マイクロフォン



- スパッツァーのフラットエンドを使用して、I/OボードケーブルコネクタをI/Oボードのソケットから跳ね上げて外します。
- ① I/Oボードケーブルを取り外す必要はありませんが、作業の邪魔にならないように曲げてください。
- ファン上部に固定された接着剤からI/Oボードケーブルを慎重に剥がしますが、完全に外さないでください。

手順 9

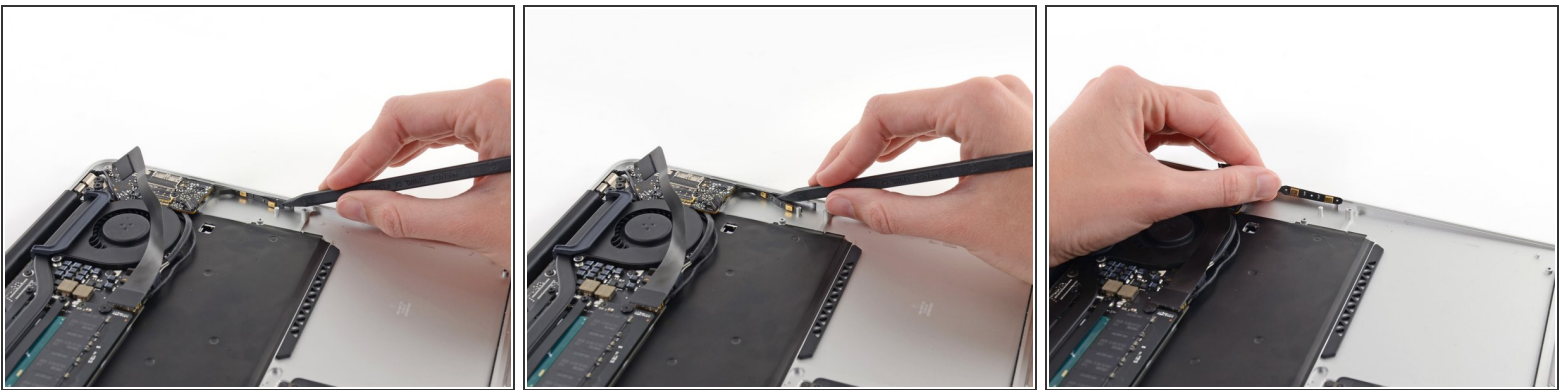


- スパジヤーの先端を使って、マイクロフォンのリボンケーブルZIFソケット上の固定フラップを丁寧に跳ね上げて外します。

⚠ ソケット自体ではなく、保持フラップを裏返していることを確認してください。

- マイクロフォンリボンケーブルをI/Oボードのソケットからまっすぐ、丁寧に押し出します。

手順 10



- スパジヤーの先端を使って、上部ケースの左側につけられた接着剤からマイクロフォンを解放します。
- 上部ケースからマイクロフォンを取り出します。

デバイスを再度組み立てるには、この説明書の逆の順番で組み立ててください。